

2024 年度

加納西スポーツ少年団サッカー部

保護者研修会



日 程：2024 年 12 月 7 日(土) 13:30-15:00
場 所：加納西公民館 1 階 和室
参 加 者：10 人
内 容：社会の変化とこれからの教育 ～主体性と当事者意識を考える～ (映像視聴)

【参加者の感想】

学年	感想等
1 年・幼稚園	大変参考になりました。我が家でも心理的安定や、当事者意識を身につける事を目的にしたいと思いました。一方で我が家だけではなかなかむずかしい部分も多く、可能な限り大きなコミュニティで実践する必要があるのだと課題感も感じました
1 年・幼稚園	サッカーに限らず日常生活全般において、子供の主体性を伸ばす働きかけや声掛けをしていきたいと思いました。貴重な機会をありがとうございました。
1 年・幼稚園	自分なりに考えて行動させることを意識させたいと思いました
1 年・幼稚園	主体性の高いこどもを育てるためには、先入観にとらわれず教育環境を見直す必要があると思いました。
1 年・幼稚園	失敗を恐れない。主体性を持ち自分の考えで決断する。日本の教育について考えたことがなく、家庭教育でも役立てたいです。
1 年・幼稚園	なるほど半分、でもなあ…が半分でした。自分が普通とか正しいと思ってきたことが、本当にそうなのか不安になりました。親も学ばなければと痛感したし、こういう学びの場を作ってもらえて有難いです。うちはそれぞれの年齢と性格に合わせて、口うるさいおばさんになりすぎて子達の主体性をつぶしてしまうことのないよう気をつけたいです。

【担当者より】

お忙しいところ研修会にご参加いただき、ありがとうございました。今回の研修会では教育界のスペシャリストの講演を映像で視聴する研修会を実施しました。研修の中では「主体性」「当事者意識」「自己決定」「心理的安全性」というキーワードが中心とされていたと思います。教育の考え方の一つとして捉えていただけたら幸いです。

私たち大人が受けてきた教育と、これから必要とされる教育はおそらく異なるものではないかと思っています。自身が経験されたことを子どもたちに伝えて聞くことはもちろん大切なことだと思いますが、それだけでは子どもたちに対して間違った関わり方をしてしまう可能性があることは否定できません。よくサッカーの指導者講習会では右のスライドが多く用いられ、指導者に伝えられています。選手も指導者も保護者も関係なく、サッカーに関わる全ての人が学ぶ姿勢をもって活動していきましょう。

私たち保護者は、自身の大切な子どもと、その子が大切にしている仲間やサッカーを大切にしていこうという思いを共有できたらと思います。だからこそ、保護者の皆さんも主体的に当事者意識を持って子どもたちの活動に参加いただきたく思います。ぜひとも意見交流をしながら、子どもたちにとってより良い活動を試行錯誤していきましょう。今後とも本サッカー部へのご理解とご協力をお願いいたします。



「学ぶことをやめたら
教えることを
やめなくてはならない」

ロジェ・ルメール